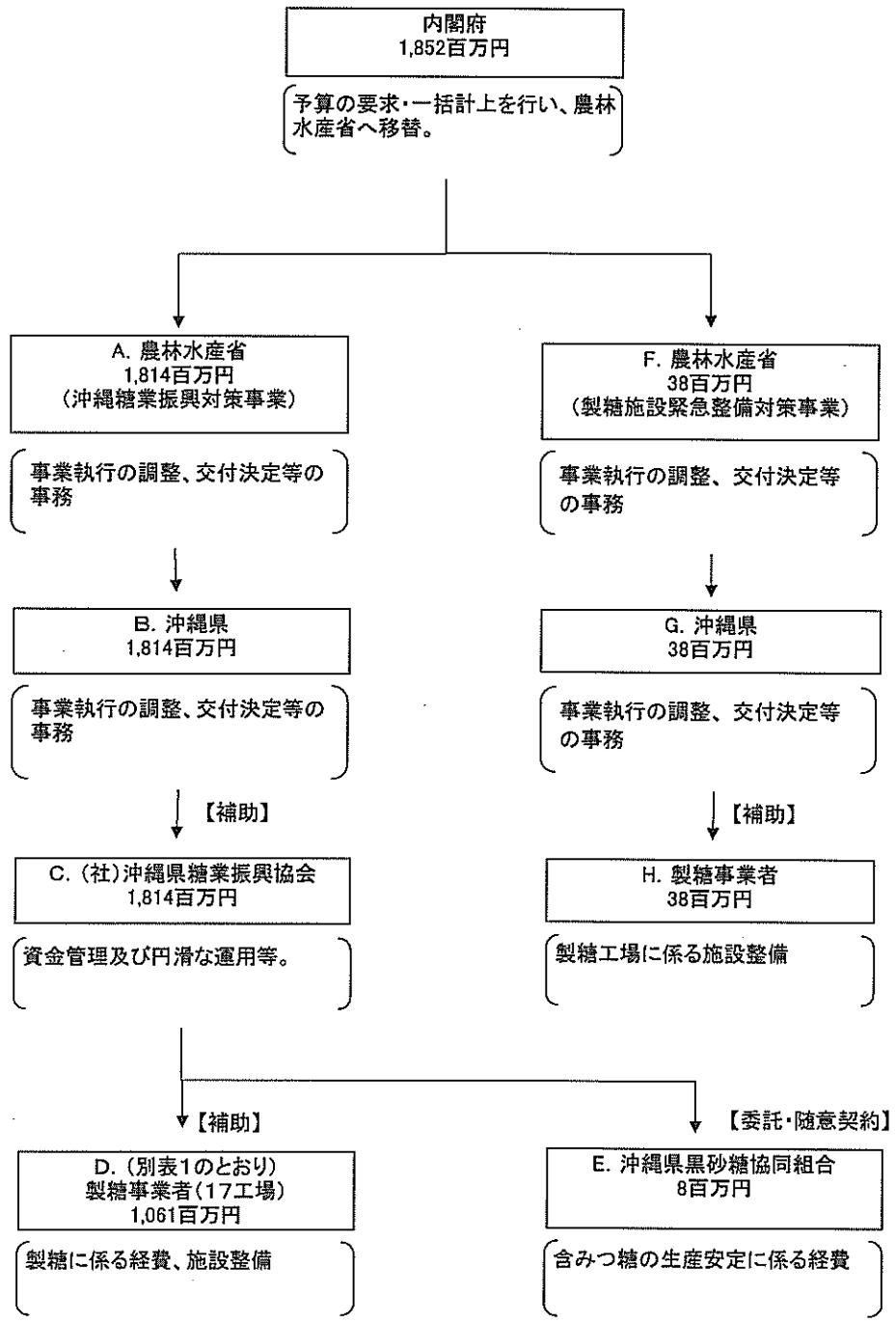


行政事業レビューシート (内閣府)

予算事業名	糖業振興対策事業	事業開始年度	昭和47年	作成責任者		
担当部局庁	沖縄振興局	担当課室	参事官(振興第二担当)	岩片 弘信		
会計区分	一般会計	上位政策	沖縄政策の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法第105条第3項 沖縄振興特別措置法施行令第38条第4項	関係する計画、通知等	沖縄振興計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>沖縄県の製糖業は、地理的、自然的、社会的条件が不利なことから、諸外国に比べその生産条件格差が著しく、また、原料さとうきびの生産が気象災害等の影響を受けやすく、そのことが製糖業の経営を著しく不安定なものとしている。</p> <p>このため、生産条件格差の不利を補正するための助成措置、気象災害等がその経営に及ぼす影響を緩和するための助成措置等を講ずるものである。</p>					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>沖縄県内の製糖事業者に対し、含みつ糖の標準的なコストと販売価格の差額や気象災害等によるコストの増嵩分、環境対策や省エネルギー対策に資する施設整備等に対する一部補助。</p> <p>補助率:2/3、1/2、定額</p>					
実施状況	<p>沖縄県内の製糖企業(分みつ糖工場 9者10工場、含みつ糖工場 5者7工場)に対して気象災害等によるコストの増嵩分の一部助成及び省エネルギー等に資する施設整備に対する経費の一部補助を実施。</p> <p>また、含みつ糖製造業者に対する生産条件不利補正対策費の支払。</p> <p>その他に21年度補正予算事業により製糖施設緊急整備対策として6工場に対し、製造コストの低減等に資する施設整備に対する一部補助。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	1,968	1,948	3,325	1,929	2,198
	執行額	1,968	1,824	1,852		
	執行率	100%	94%	56%		
	総事業費(執行ベース)	2,302	2,627	2,755		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<p>本事業は、内閣府で計上し、移替先である農林水産省において補助金交付要綱に基づき、四半期毎に事業実施主体から補助事業の遂行状況報告を受けているほか、毎年度、各含みつ糖工場及び沖縄県に対するヒアリングにより、生産コスト・支出先・用途の把握を行っている。</p> <p>また、施設整備を実施した製糖工場については、事業実施要領に基づき県の現地確認を踏まえ、補助事業の完了時には、実績報告を受けている。</p>				
	見直しの余地	<p>製糖業は、沖縄県農業において非常に重要な位置を占めているが、地理的な制約等から規模拡大が難しく製糖企業の経営状況は厳しい。このため、製糖施設については老朽化が進み、耐用年数を過ぎたものが数多く使用されているものの、自力では新たな施設整備が難しい状況となっている。特に離島においては、さとうきび生産農家の割合が多く、製糖工場の施設整備を図り、経営の合理化を進めつつ操業を維持することは地域農業の振興及び地域活性化を図る上で欠くことができない。</p> <p>また、含みつ糖製造業者においては、規模等の制約から、依然として生産コストの支援は必要であり、また、これが間接的にさとうきび生産者の生産コストの補填に転化している。</p> <p>これらの状況から、さとうきび農家への戸別所得補償制度の導入の推移を見極めつつ、引き続き本事業を実施する必要がある。一方、製造される黒糖のブランド化や安全、安心な食品とするための取組み等の新たなニーズに対応した事業の見直しが必要である。</p>				
化予 算 監 視 の 所 効 見 率	<p>事業の進捗状況を的確に把握し、今後の事業計画を検討すべき。</p>					
補 記	<p>内閣府では、農林水産省の担当者と共に沖縄県等からヒアリングを行い、また、現地にて視察等を行い、執行状況について把握している。</p> <p>なお、21年度執行率は56%であるが、21年度補正にて計上された補助金1,396百万円が含まれており、このうち、21年度は38百万円執行している。残りの1,358百万円については、22年度に繰越・執行することとしている。</p> <p>このことから、21年度補正を除いた予算額は1,929百万円、執行額が1,814百万円であり、執行率は94%である。</p>					

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.農林水産省			E.沖縄県黒砂糖協同組合		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金の類	沖縄県が実施する製糖事業者への補助事業に対する補助	1,814	外部委託	高付加価値化した含みつ糖を開発するための経費	4
			人件費	含みつ糖工場の技術向上を図るための指導・調整	2
			謝金	含みつ糖工場の技術向上を図るための技術者への謝金	1
			旅費	含みつ糖工場の技術向上を図るための技術者及び事務局の旅費	1
			その他	役務費、需用費、雑費、使用料及び賃借料	0
計		1,814	計		8
B.沖縄県			F.農林水産省		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金の類	事業実施主体が実施する製糖事業者への支援事業等に対する補助	1,814	補助金の類	製糖工場の施設整備に対する補助	38
計		1,814	計		38
C.(社)沖縄県糖業振興協会			G.沖縄県		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金の類	製糖事業者への補助	1,061	補助金の類	製糖工場の施設整備に対する補助	38
基金造成	気象災害による製糖業者の製造経費高騰を緩和するための基金造成費	739			
外部委託	含みつ糖の高付加価値化や工場の技術指導を実施するための経費	8			
人件費	補助金交付事務、基金の運営管理	5			
その他	旅費、使用料及び賃借料、役務費、需用費	2			
計		1,814	計		38
D.製糖事業者			H.製糖事業者		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	製品(粗糖、含みつ糖)の製造コストと製品の販売価格の差に充当	631	施設整備	製糖工場の施設整備	38
施設整備	製糖事業者の施設整備	430			
計		1,061	計		38

別表1

D.製糖事業者上位10工場(全17工場)		
支出先		支出額(百万円)
1	宮古製糖多良間工場	194
2	翔南製糖	191
3	球陽製糖	142
4	波照間製糖	122
5	JAおきなわ伊平屋支店	73
6	北大東製糖	66
7	西表糖業	65
8	JAおきなわ伊是名支店	47
9	久米島製糖	44
10	JAおきなわ与那国支店	42